



研修便り



ひまわり



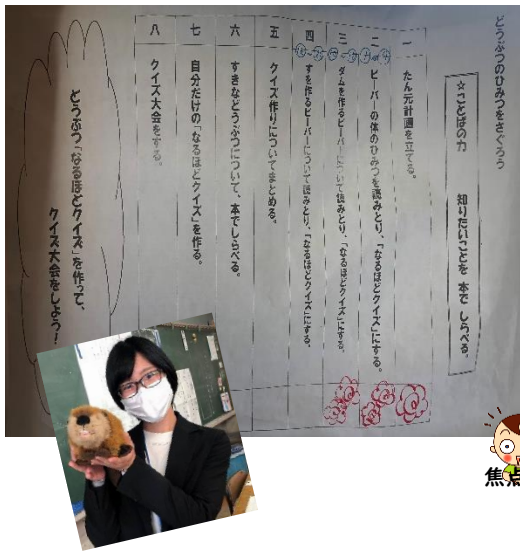
令和3年12月8日
廿日市立佐方小学校
教務部 No.7

先日、2年3組で研究授業がありました。2年生の説明文では、「中心となる語や文を見付ける力」が必要です。授業者の山口先生は、「全員が出来た！分かった！」と言える授業にしたいと、多くの手立てを組まれながら単元を考えられました。タブレットを使った授業にもチャレンジしてください、新たな可能性を感じることができました。



単元の流れについて「どうぶつのひみつをさぐろう『ビーバーの大工事』」

【第1時】学習のゴールイメージをもち、単元のめあてを設定する。

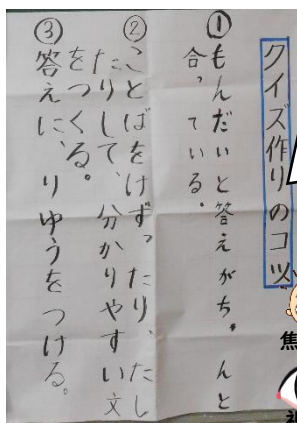


単元のゴールは、「動物について調べて分かったことを『動物なるほどクイズ』にして学校みんなに紹介しよう」です。「問題」と「答え」を書くだけではなく、その答えになる「理由」も付けて、より分かりやすくしていくのが目標です！

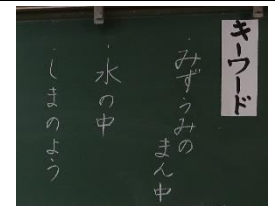
☆身に付けたい力

- 文章の中の重要な語や文を選び出す力
- 事柄の順序を考えて、内容の大体をとらえる力
- 「問題」「答え」「理由」のまとまりを明確にして書く力

【第2～8時】クイズ作りを通して、教材文「ビーバーの大工事」の内容を読み取る。(本時)



クイズ作りのコツは3つです。教材文の主人公ビーバーについてのクイズを場面ごとに段階的にレベルアップして作らせました。どのような問題にするのか、どの言葉を答えにするのかを考えながら、内容を正しく読み取っていきました。クイズ作りの4つ目のコツとして、「『文章中から抜き出すこと』を加えても良かった」と教頭先生からアドバイスがありました。



本時で出てきた3つのキーワードは、子どもたちの驚きやクイズにしたい所を中心にしぼっていきました。

【第9～15時】自分が調べた動物について「動物なるほどクイズ」を作って紹介する。



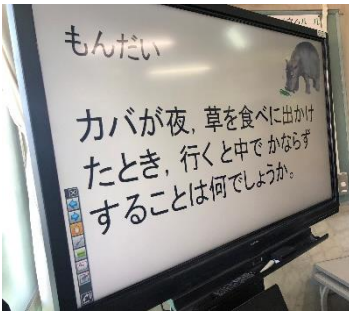
いよいよ「動物なるほどクイズ」を作ります。3つのコツをしっかりと活用して、より分かりやすいクイズにしていきます。さて、「なるほどポーズ」は出てくるでしょうか??



本時の授業について、協議の柱をもとに先生方からいただいた意見について

【協議の柱】

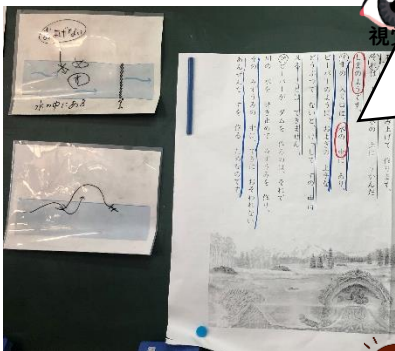
☆ 「理由」の必要性に気付かせるための手立ての工夫



カバクイズを出すことで、児童の興味を引き出していました。「理由」があることで、「なるほど!」「あ〜!」といった声も上がっていました。めあても自分たちの言葉で立てていました。

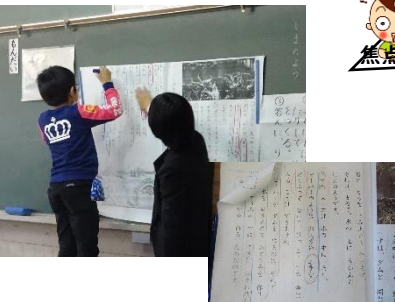
- ◇相手意識をもたせるために…
- ① 先生に問題と答えだけのクイズを出してみる。
⇒あまり盛り上がりがない!?
- ② 「理由」を付けると、「なるほどレベル」が上がるかも!! と自分たちの作ったクイズを通して気付かせても良かった。

☆ ビーバーの巣作りとダムを作る目的との関係を明確に読み取らせ、クイズを正しく作らせるための手立て



図と文章をつなぎながら読み取っていくことで、視覚的にも内容の理解を深めていくことができていました。また、先生が図を描く時に、わざと「こうじゃない?」間違えることで、児童が自ら「気付く」ように工夫されていました。

- ◇図だけではなく、映像や立体等で表すことで、より内容の理解につながった。
- ◇「○ページの～行目」と言葉で説明する力も大切。
- ◇個人でまず、自分の答えの理由となる部分を探してみてもよかった。(個人思考の時間の確保)
- ◇同じ理由の人同士で集まって、互いの書いたことを比較できると、答えと理由の整合性をより高めることができた。



教科書に線を引かせることで、「叙述を基に理由を考える」ことを児童が意識できていました。

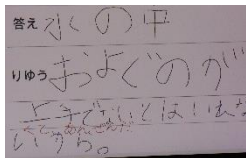
タブレットを持ち歩いて、見せ合うこともできる!!



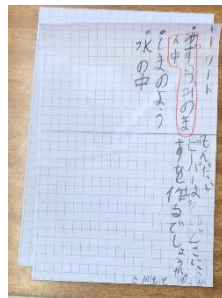
タブレットを見せ合い、互いのクイズを見ながらアドバイスをする時間が設けられていました。先生が、文章をより分かりやすくするためにどう修正していったらよいかを例示されていたので、児童もそれを意識してアドバイスし合うことができていました。
→主体的・協働的な学びにつながります!!

- ◇本時では、コツ②の「言葉を付け足したりけずったりする」ではなく、コツ③の「答えに合った理由を付ける」ことに焦点化してもよかった。答えが同じでも、理由が異なる二つのクイズを提示して、より良い理由はどんなものかをみんなで吟味していても良かった。

- ◇クイズを書く際に、文章を作る力が顕著に表れる。「主語は必ず書く」等、文章力をアップさせていく必要がある。



山口先生は、「全員が分かる」授業を目指されて様々な手立てを組まれていました。机上を整理するために、ノートではなく、マス目の付いた付箋を机に貼らせていたり、「答え」と「理由」のつながりが見えるように、スライドのレイアウトを工夫したりしていました。緊張しながらも、生き生きと頑張る3組さんの姿がとても素敵でした。





ICTミニ研修

今回、2年生の先生方がICTを活用した授業を提案してくださいました。新しいことにチャレンジするにあたり、事前準備や児童への指導等大変なことも多かったと思います。ありがとうございました。

研修では、「Jamboard」と「スタディネット」の使い方を教えていただいたのでご紹介します。

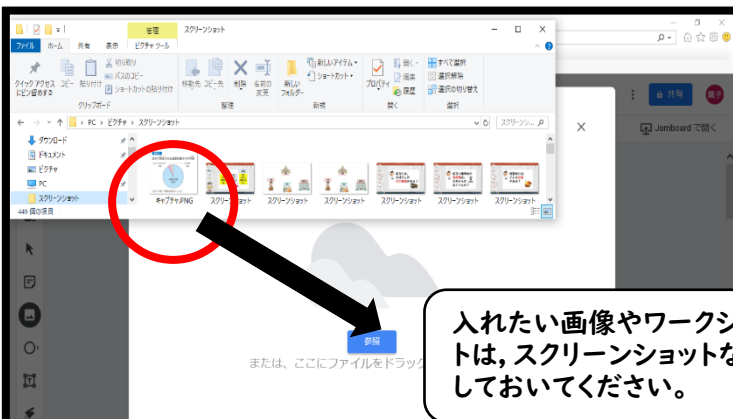
★Jamboard の活用について★



①「Jamboard」を開き、「+」をクリックして、新規作成をする。



②画像やワークシートを入りたい場合は、「画像を追加」をクリックする。

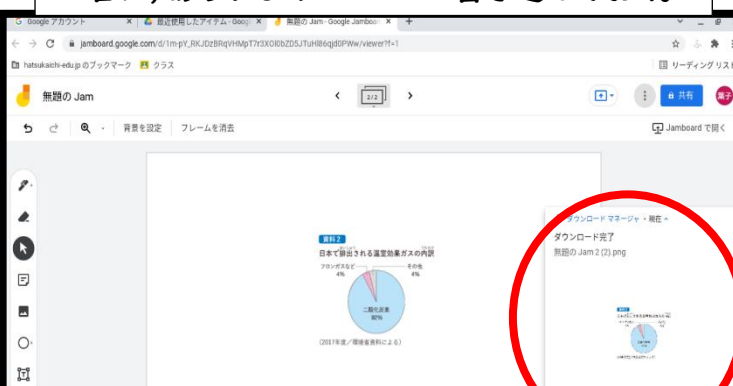


入れたい画像やワークシートは、スクリーンショットなどしておいてください。

③事前に画像を入れておいたフォルダを開き、ドラッグして挿入する。他にも書き加えたい場合は、あらかじめフレームに書き込んでおく。

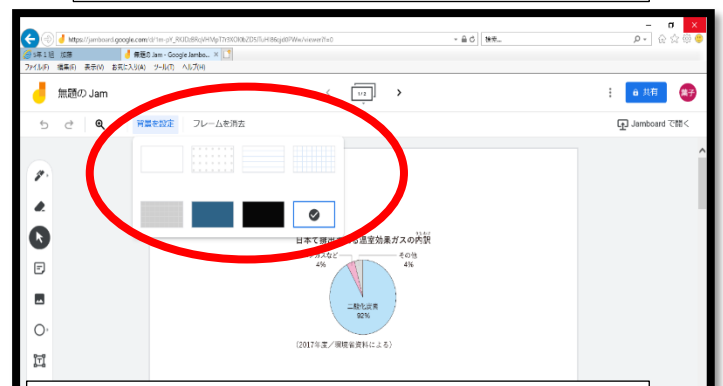


④右上の「3つの点マーク」をクリックして、「フレームを画像として保存」



⑤すると、右下(左下)に保存した画像が出てくる。

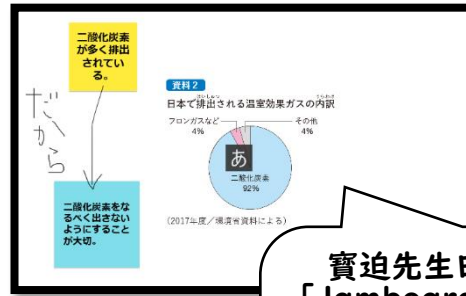
※ただし、これは、教室のタブレットでしか出てきませんでした。職員室のパソコンではここからの作業はできません!!



⑥「背景を設定」をクリックして、右下の「チェックマーク」をクリック。③と同じように⑤で保存した画像をドラッグする。すると、児童が勝手に操作できないようになります。

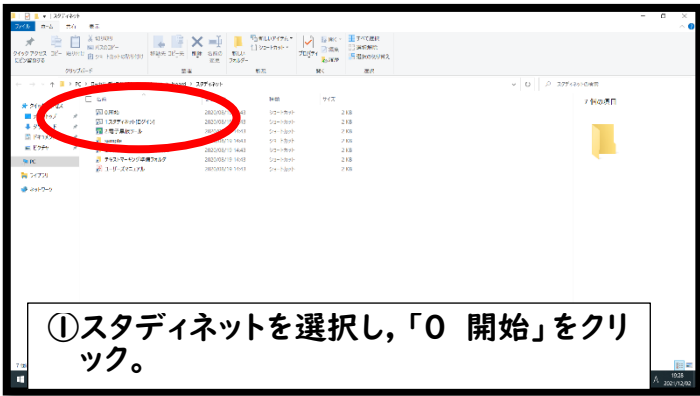


⑦あとは、自分のクラスルームで、作成した「Jamboard」を投稿してください。

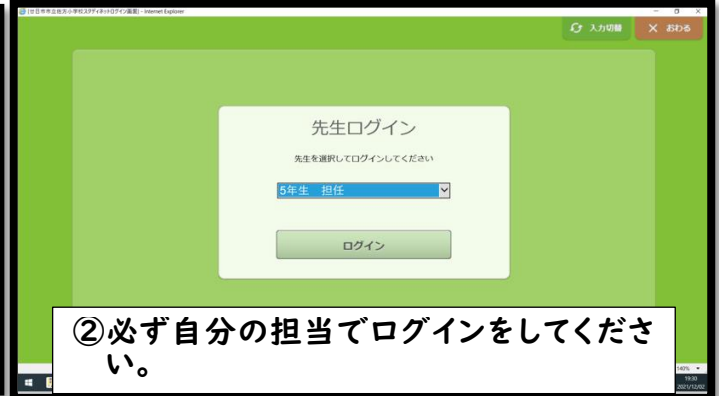


寶迫先生曰く、「Jamboard」の良さは、付箋を使える所だそうです。児童が気付きを書きやすいです。付箋の大きさも変えられます。子どもたちも互いの意見や考えを知ることができます。

★スタディネットの活用について★



①スタディネットを選択し、「0 開始」をクリック。



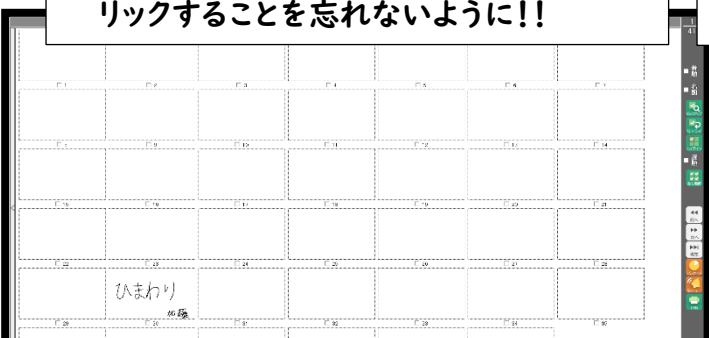
②必ず自分の担当でログインをしてください。



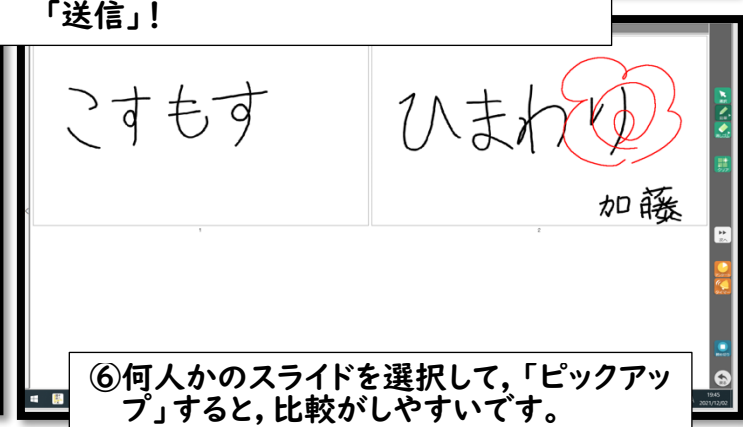
③自分のクラスを選択し、右の「接続」をクリックすることを忘れないように!!



④後は、自分が送信したい形式を選んで「送信」!



⑤「一覧」を選択すると、児童の画像が見やすくなります。再度書き直させたいときは、「リトライ」をクリックする。



⑥何人かのスライドを選択して、「ピックアップ」すると、比較がしやすいです。

今回は 1月25日(火) 1年2組 奥村先生が授業研究をしていただきます。どうぞよろしくお願い致します。